令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 書道Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 書道Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A・B組	藤井	C・D組	藤井	G組	藤井								
使用教科書：	書道Ⅰ（大修館書店） 副教材：「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」（教育図書）													

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かなに表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 1　書の美を求めて	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	書の伝統と文化を知り、深く味わう。	文房四宝　用具・用材について					①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	創造的な表現をするための書の美を味わう。	筆・墨・硯・紙					①用具・用材から表現性の相互関連を理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	芸術を愛好する心情を育む。	まなびリンク					①様々な用具・用材による多様な書の美の表現の広がり、効果の違いについて理解している。				
	単元 2　書の世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	書の伝統と文化を知り、それに基づいて必要な技能を身につける。	姿勢・執筆　古典の学び方					①中学校国語科の書写での学習を振り返り、書写から書道への広がりを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	創造的な表現をするための書の美を味わう。	教科書					①書や文字の意味や価値・表現の効果について、芸術家の視点から考えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	芸術を愛好する心情を育む。	まなびリンク					①生活の中で学習を活かしていくことに積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説										
	単元 3　漢字の書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその効果との関わりを理解する。	書体の変遷　拓本と碑について					①書の表現の多様性に気付き、既得の知識を再確認している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	教科書					①生活や社会における書の効用について考え、味わっている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。	まなびリンク					①主体的に学習に取り組んでいる。				
	単元 4　楷書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	書体や書風と、用筆・運筆の技能を身につける。	唐の四大家　書風の分析					①名筆による書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	古典の書体や書風に即した表現について構想し、工夫する。	教科書　九成宮醴泉銘　孔子廟堂碑					①線質、字形、構成などの要素と、風趣について理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。	まなびリンク　比較と分析					①反復的な活動の積み重ねによって学習を深めていこうとしている。				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説										

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 書道Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅰ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：	A・B組	藤井	C・D組	藤井	G組	藤井								
使用教科書：	書道Ⅰ（大修館書店） 副教材：「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」（教育図書）													

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かなに表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5　行書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解する。	様々な行書の特徴					①速書きに適し、読みやすいことから日常生活にも使用される行書の書体をわかっている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	名筆や古典作品の鑑賞を通して書の伝統文化を味わう。	教科書　図版					①筆使いや文字の造形の違いを理解し、表現することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	調和や風趣を考えながら表現効果を意識する。	鑑賞ガイド　動画					①楷書と比較した点画の変化や連続性、省略性について理解している。				
	単元 6　王義之と蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	時間性と運動性、運動性と空間性を理解する。	行書の特徴　楷書との比較					①行書が楷書と草書の中間にあることを再確認している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	臨書で扱った表現活動を理解し、それを表現する。	教科書　図版					①正しさ、読みやすさ、速さなど形の多様性を兼ね備えた書体を習得している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に行書の表現の学習活動に取り組む。	まなびリンク　動画					①課題を完成させ、これを土台にして行書の書風を味わうようにしている。				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説										
	単元 7　唐の太宗と蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	線質、字形等の構成要素を理解する。	二十の「之」字と豊かな表現力					①一つも同じ表現がなく、書風が違うことを感じ取り、臨書できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	普遍的価値について考え、書のよさや美しさを味わう。	巻物（神龍半印本）　副教材					①前後の文字との関係から、字形が変化していくことを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に創造的な鑑賞に取り組む。	鑑賞ガイド					①反復的な活動の積み重ねによって学習を深めていこうとしている。				
	単元 8　仮名の書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	仮名の書、漢字仮名交じりの書の特質と歴史について理解する。	仮名の成立　基本筆使い					①名筆や現代の書の表現を通して、美しさを感受する技能が身についている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	生活や社会における仮名の美の効用を考え、味わう。	教科書					①これまでの作品と、鑑賞した作品を見直してヒントを探すことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に創造的な鑑賞に取り組む。	発表					①自身の取組を振り返りながら作品を表現しようとしている。				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説										

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 書道Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 書道Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A・B組	藤井	C・D組	藤井	G組	藤井								
使用教科書：	書道Ⅰ（大修館書店） 副教材：「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」（教育図書）													

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かなに表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元 9　仮名の世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	連綿と単体、線質や字形を生かして技能を身につける。	変体仮名と連綿					①仮名一字単体が身についている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	表（平仮名・変体仮名）					①各字の字源や成立過程について理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組む。	まなびリンク　動画					①いろは歌を通して、書のよさや美しさを感受している。				
	単元 10　高野切第三種の鑑賞と臨書	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	古典に基づく基本的な用筆・運筆を身につける。	古典仮名の鑑賞と臨書					①名筆による書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫する。	料紙　色紙　短冊					①古筆、名跡に接し、知識及び技能を身につけている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組む。	まなびリンク　動画					①粘り強く取り組む中で、自身の進歩の状況を自己評価している。				
	単元 11　漢字仮名交じりの書	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	目的や用途、表現形式に応じた全体構成を工夫する。	身のまわりの書					①幅広い作品に接し、鑑賞をする中でその目的や用途を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	感興や意図に応じた個性的な表現について工夫する。	半懐紙　継ぎ紙					①作品の書の伝統と文化の意味や価値を理解して表現することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組む。	まなびリンク					①自身の取組を振り返りながら作品を表現しようとしている。				
	単元 12　硬筆	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	方法や形式、書の表現について理解する。	書式の教室					①書写能力を向上させるとともに、基礎的な技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	個性的な表現について構想し、工夫する。	封筒　はがき　包み紙					①意図に基づいて構想し、表現を工夫することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	技能を身につけ、目的や用途に応じて応用する。	発表					①作品の制作や表現などの多様な活動を取り入れ、自身の進歩を評価している。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説										